

石碑がふるさとに里帰り～「湯屋の辻道標」の復元～

担当：歴史博物館 三谷（電話 0979-23-8615）

1. 概要

昨年、福岡県東峰村で発見され、中津市歴史博物館に寄贈された「湯屋の辻道標」について、元の位置への復元工事を行っています。復元完了後には、お披露目式を行います。

2. 経緯

令和2年6月上旬、福岡県東峰村小石原皿山地区にある旧工芸館跡地で、中津市の湯屋の辻に建立されていた道標の下半分が発見されました。道標は地表面から高さ81.5cm、幅18.5cmの四角柱状で、四面に「中津道」「小倉道」「宇佐道」「珠日田道」と深く陰刻されています。「珠日田道」の字から「玖珠」の玖字があったとみられ、上部が欠損した道標であることがわかります。

◆東峰村日本工芸館小石原分館跡所在道標



「中津道」



「珠日田道」



「宇佐道」



「小倉道」

旧工芸館を共有で所有していた内の1人が「この道標を元の場所に還してあげたいが、どこのものかわからない。」と東峰村教育委員会に相談し、銘文から中津市付近のものと同予想した村教委より、中津市歴史博物館に相談がありました。

調査の結果、現在上半分だけ残っている湯屋の辻の道標の下半分であることがわかりました。湯屋の辻の道標は、江戸時代に設置されたものです。昭和59年に用水路工事中に下半分が折れて失われた状態で発見され、貴重な文化財であることから、市は平成23年に下半分の所在不明のまま現位置に設置していました。

◆湯屋の辻所在道標（中津市大字相原 ハートフル動物病院敷地内）



「従是北」



「従是南玖」



「従是東」



「従是西」

お互いに現地にて道標を確認し、字体等から当村の道標は湯屋の辻の道標の下半分で間違いないことを確認しました。道標は昨年度中津市に寄贈されました。現在、中津市では、上下を繋いで元の位置への復元工事を行っています。一度現地から失われた石造物が元の場所に戻ってくることは非常に珍しいことです。

3. 復元お披露目式

離れ離れになっていた道標を接合し、湯屋の辻に復元設置する工事を行っています。東峰村からも関係者が参加し、下記日程で完成披露を行います。

日時：令和4年3月17日（木）14：00～
場所：湯屋の辻道標（ハートフル動物病院向かい）
駐車場：鶴居コミュニティーセンターに駐車



従
是
南
玖
珠
日
田
道

玖

東峰村（福岡県朝倉郡）

面積 51.97 km²、人口 1853 人（2022 年 1 月 1 日推計）

2005 年に小石原村と宝珠山村が合併して発足。産業としては旧小石原地区の特産品・小石原焼（国指定重要無形文化財）がある。2017 年 7 月の九州北部豪雨で大きな被害を受けた。